



Red Hat AMQ 2021.Q1

AMQ Interconnect 1.10 リリースノート

AMQ Interconnect リリースノート

Red Hat AMQ 2021.Q1 AMQ Interconnect 1.10 リリースノート

AMQ Interconnect リリースノート

Enter your first name here. Enter your surname here.

Enter your organisation's name here. Enter your organisational division here.

Enter your email address here.

法律上の通知

Copyright © 2022 | You need to change the HOLDER entity in the en-US/Release_Notes_for_AMQ_Interconnect_1.10.ent file |.

The text of and illustrations in this document are licensed by Red Hat under a Creative Commons Attribution–Share Alike 3.0 Unported license ("CC-BY-SA"). An explanation of CC-BY-SA is available at

<http://creativecommons.org/licenses/by-sa/3.0/>

. In accordance with CC-BY-SA, if you distribute this document or an adaptation of it, you must provide the URL for the original version.

Red Hat, as the licensor of this document, waives the right to enforce, and agrees not to assert, Section 4d of CC-BY-SA to the fullest extent permitted by applicable law.

Red Hat, Red Hat Enterprise Linux, the Shadowman logo, the Red Hat logo, JBoss, OpenShift, Fedora, the Infinity logo, and RHCE are trademarks of Red Hat, Inc., registered in the United States and other countries.

Linux[®] is the registered trademark of Linus Torvalds in the United States and other countries.

Java[®] is a registered trademark of Oracle and/or its affiliates.

XFS[®] is a trademark of Silicon Graphics International Corp. or its subsidiaries in the United States and/or other countries.

MySQL[®] is a registered trademark of MySQL AB in the United States, the European Union and other countries.

Node.js[®] is an official trademark of Joyent. Red Hat is not formally related to or endorsed by the official Joyent Node.js open source or commercial project.

The OpenStack[®] Word Mark and OpenStack logo are either registered trademarks/service marks or trademarks/service marks of the OpenStack Foundation, in the United States and other countries and are used with the OpenStack Foundation's permission. We are not affiliated with, endorsed or sponsored by the OpenStack Foundation, or the OpenStack community.

All other trademarks are the property of their respective owners.

概要

本リリースノートには、AMQ Interconnect 1.10 リリースに含まれる新機能、改良された機能、修正、および問題に関する最新情報が含まれています。

目次

| | |
|---|----|
| 多様性を受け入れるオープンソースの強化 | 3 |
| 第1章 AMQ INTERCONNECT 1.10 の長期サポート | 4 |
| 第2章 RED HAT ENTERPRISE LINUX 6 のサポート終了日 | 5 |
| 第3章 OPENSIFT CONTAINER PLATFORM のバージョン | 6 |
| 第4章 新機能および変更された機能 | 7 |
| 第5章 ネットワークが制限された環境での OPERATOR の使用 | 8 |
| 第6章 SSL/TLS での QDSTAT または QDMANAGE の使用 | 9 |
| 第7章 修正された問題 | 10 |
| 第8章 既知の問題 | 11 |

多様性を受け入れるオープンソースの強化

Red Hat では、コード、ドキュメント、Web プロパティにおける配慮に欠ける用語の置き換えに取り組んでいます。まずは、マスター (master)、スレーブ (slave)、ブラックリスト (blacklist)、ホワイトリスト (whitelist) の 4 つの用語の置き換えから始めます。この取り組みは膨大な作業を要するため、今後の複数のリリースで段階的に用語の置き換えを実施して参ります。詳細は、[弊社](#)の CTO、Chris Wright のメッセージを参照してください。

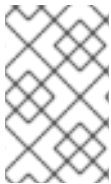
第1章 AMQ INTERCONNECT 1.10 の長期サポート

AMQ Interconnect 1.10 は、長期サポート (LTS) リリースバージョンとして指定されています。バグ修正とセキュリティーアドバイザリーが、AMQ Interconnect 1.10 の一連のマイクロリリース (1.10.1、1.10.2、1.10.3 など) で最低でも 12 カ月間利用可能になる予定です。

つまり、新しいマイナーリリースにアップグレードすることなく、AMQ Interconnect の最新のバグ修正およびセキュリティーアドバイザリーを取得できます。

LTS リリースストリームに関する以下の重要なポイントに注意してください。

- LTS リリースストリームでは、バグ修正のみが提供されます。このストリームには新しい機能拡張は追加されません。
- サポート対象の設定を維持するには、LTS リリースストリームの最新マイクロリリースにアップグレードする必要があります。
- LTS バージョンは、AMQ Interconnect 1.10.0 GA の時点から最低でも 12 カ月間サポートされます。



注記

AMQ Interconnect 2 は OpenShift Container Platform 3.11 をサポートしません。OpenShift Container Platform 3.11 を引き続き使用するためには、Red Hat はこの LTS リリースを使用することを推奨します。

第2章 RED HAT ENTERPRISE LINUX 6 のサポート終了日

バージョン 1.10 の時点で、AMQ Interconnect は Red Hat Enterprise Linux 6 をサポートしなくなりました。Red Hat Enterprise Linux 6 のメンテナンスサポートは、2020 年 11 月 30 日に終了しました。詳細は、[Red Hat Enterprise Linux のライフサイクル](#) を参照してください。

第3章 OPENSIFT CONTAINER PLATFORM のバージョン

AMQ Interconnect 1.10 は OpenShift Container Platform バージョン 4.6、4.7、または 4.8 でサポートされます。

OpenShift Container Platform 4.9 では、非推奨の API は OpenShift から削除され、アップグレード前に以下のアクションが必要になります。

- OpenShift Container Platform バージョン 4.9 にアップグレードする前に、AMQ Interconnect 1.10.2 に更新する必要があります。以前のバージョンの AMQ Interconnect Operator がクラスターにインストールされている間に OpenShift Container Platform バージョン 4.9 へのアップグレードを試みると、エラーが表示されます。
- Red Hat Integration - AMQ Certificate Manager Operator は、OpenShift Container Platform バージョン 4.9 以降ではサポートされません。AMQ Certificate Manager Operator がクラスターにインストールされている時に OpenShift Container Platform バージョン 4.9 へのアップグレードを試みると、エラーが表示されます。Red Hat Integration - AMQ Certificate Manager Operator からの移行については、「[Deploying AMQ Interconnect on OpenShift](#)」を参照してください。

第4章 新機能および変更された機能

AMQ Interconnect 1.10 には、以下の変更が含まれています。

- 本リリースでは、Red Hat Enterprise Linux 6 はサポート対象外になりました。

第5章 ネットワークが制限された環境での OPERATOR の使用

1.10.4 では、AMQ Interconnect はネットワークが制限された環境でサポートされます。制限された環境で [AMQ Interconnect をデプロイする手順](#)は、「[Deploying AMQ Interconnect on OpenShift](#)」を参照してください。

第6章 SSL/TLS での QDSTAT または QDMANAGE の使用

Interconnect 1.10.1 リリースでは、SSL/TLS で **qdstat** または **qmanage** を使用し、**--ssl-trustfile** が指定されていない場合に、証明書はシステム認証局 (CA) を使用して検証されます。通常、システム CA はこれらの証明書を発行するために使用されず、接続は失敗します。

qdstat または **qmanage** を使用して SSL/TLS 経由でルーターに接続する場合は、CA ファイルを指定して、そのルーターを認証して接続の問題を回避します。以下に例を示します。

```
$ qdstat --ssl-trustfile <pem-database-file>
```

第7章 修正された問題

- **ENTMQIC-2752** - トランザクションセッションでルーターによって転送された配置の詳細が欠落

以前のバージョンでは、メッセージが、トランザクションセッションでルーターを介してクライアントからブローカーに移動していたため、ブローカーからの破棄はルーターからクライアントに転送されませんでした。

この問題は解決されています。

- **ENTMQIC-2624** - Provide example yaml files for installation of operator and container image

以前のバージョンでは、AMQ Interconnect Operator を使用する場合は、OperatorHub を使用してこれをプロビジョニングする必要がありました。

このリリースには、コマンドラインから Operator をプロビジョニングするファイルおよび手順が含まれています。

- **ENTMQIC-2427** - In qpid-dispatch-console the addresses page is not showing the ingress and egress counts properly

以前のバージョンでは、モバイルアドレスに関連付けられた配信属性値に対して AMQ 管理コンソールが 0 を誤って表示する場合があります。

この問題は解決されています。

第8章 既知の問題

- **ENTMQIC-1980 - Symbolic ports in HTTP listeners do not work**

http オプションを有効にしてルーターのリスナーを設定する場合 (コンソールまたは WebSocket アクセス用)、**port** 属性は数値的に表現する必要があります。シンボリックポート名は HTTP リスナーでは機能しません。

リスナーが以下のように設定されている場合:

```
listener {  
  ...  
  port: amqp  
  http: yes  
  ...  
}
```

これは以下のように変更する必要があります。

```
listener {  
  ...  
  port: 5672  
  http: yes  
  ...  
}
```

改訂日時 : 2022-01-22 15:36:00 +1000